

フィールドという方法を考える

大学院における短期海外体験型学習（海外フィールドスタディ）の
キャリア形成に与える影響

若林真美

名古屋大学大学院医学系研究科 特任助教

（博士課程教育リーディングプログラム複合領域型「ウェルビーイング in アジア」実現のための女性リーダー育成プログラム）

大阪大学グローバルイニシアティブ・センター 招聘研究員

内容

- 大学院での短期海外体験型学習とキャリア
- 大阪大学での海外フィールドスタディ
- インタビュー調査
 - 目的・調査方法
 - 結果・考察（キャリアへの中長期的効果）
- 調査結果を活かした実践
 - 名古屋大学での海外研修への適応

大学院における 短期海外体験型学習とキャリア

- グローバル社会で活躍できる人材育成
- グローバル人材のコンピテンシー
⇒ 海外留学や海外での体験学習への期待

- 博士課程リーディングプログラム

⇒ 学際融合的な博士課程5年一貫教育

(短期海外体験型学習が取り入れられている)

大阪大学での 海外フィールドスタディ (FS)

- 2011年度から開講科目
 - 2010年度試行プログラム生および2011年度開講科目受講生
- 事前学習＋実地研修(10日間前後)＋報告会
- 大学が主体的に企画と運営
- 学際融合的な学生グループによる調査や視察などを行う
- 全研究科の大学院生対象
- 6年間で315名受講(19か国)



インタビュー調査-目的/方法-

目的

海外フィールドスタディ
へ(FS)の参加経験

5~8年後

キャリア^{*1}形成
への効果

方法^{*2}

- 機縁法による調査依頼
- 対象者は2010~2013年にFSに参加した12名
- 半構造化面接(オンライン)⇒逐語録作成⇒要約

*1: 人生の多面的な軌跡を意味することを協力者へ説明済

*2: 大阪大学Coデザインセンター研究委倫理審査受理済

調査協力者のFIS参加当時の属性と キャリアパス

ID	性別	専攻	参加年度	参加国	大学院修了後のキャリアパス
1	女	文	2010	中国,ベトナム, パラオ	研究生→日本語教師→大学研究員→研究推進員
2	男	文	2012	モンゴル	(在学中社会人学生) 会社経営 (2度目の社会人学生中)
3	男	理	2010	ベトナム	新卒で公務員 (3部署目)
4	女	文	2011	フィリピン	臨時行政職員→青年海外協力隊→財団職員
5	男	理	2012	ベトナム&タイ	新卒で民間企業 (開発職)
6	女	文	2011, 2012	タイ,中国	新卒で高校教員 (産休中)
7	男	理	2013	モンゴル	新卒で民間企業 (技術職)
8	男	文	2013	モンゴル	(社会人学生) →定年退職→博士後期課程修了→客員教員
9	男	理	2013	モンゴル	新卒で行政法人職員 (2部署目)
10	女	理	2010	ベトナム	博士後期課程進学→(産休) 後期課程修了→博士研究員→(産休) →復職
11	女	文	2012	タイ	(博士前期課程在学中に青年海外協力隊) 新卒で民間企業 (海外駐在中)
12	男	理	2011	パラオ	新卒で民間企業 (海外駐在経験後帰国)

FSの参加経験が与える キャリアへの中長期的効果

ビジネス

就職のきっかけ
(1,4,5,7,9,10,12)

仕事へ活かした事例
(1,2,3,6,8,9)

将来展望への影響
(1,6,12)

学習意欲 & 価値観の変化

自己の専門への影響
(3,4)

自己認識の変化
(4)

学習意欲の向上
(2,4,5,6,10)

進学へのきっかけ
(2)

多様性への理解
(2,3,5,6,12)

多角的視点の獲得
(5,6,11,12)

ネットワーク

現地とのつながり
(1,2,6,8,11,12)

参加学生同士のつながり
(3,11,12)

引率教員とのつながり
(2,7,9,11,12)

キャリアへの中長期的効果と背景に関する考察

• 学生のFS以前の海外渡航経験による違い

海外渡航経験が少ない人	FSの参加のインパクトが大きい 例：グローバル企業への就職, 消費行動の変容
海外渡航経験が多い人にも	視野の広がり ビジネスチャンスへの挑戦意識の向上

• 専攻分野による違い

職業選択	理系	海外に関連した職業への興味喚起
	文系	志向していた職業への方向性強化
語学学習への意欲	理系	英語力の強化
	文系	簡単な現地語の習得への興味

キャリアへの中長期的効果と 背景に関する考察

- FS渡航先と学生の継続的交流

SNS上でのFS現地との交流
FS渡航先への再訪
グループ報告書の現地語翻訳化

引率教員の継続的な現地とのネットワーク
引率教員の継続的な学生とのネットワーク

- 参加学生の多様性

- 学びのプラットフォーム形成
- 多角的視野の獲得
- グローバルな社会に関心を持つFS参加者同士の継続的つながり

調査結果を活かした実践

-名古屋大学リーディング大学院での海外研修での実践-

「大学院生にとってインパクトのある海外フィールドスタディ」の展開への仕組み

言語学習



- プログラム使用言語は英語
⇒各学生の英語運用能力に合わせ追加サポート
- 事前研修時の語学学習が必須
⇒挨拶/調査時に役立つ現地語の習得

学習負担の考慮



- 事前研修は相互学習のグループワークを基本
- 各人の専門分野（農学、保健学）を考慮
- プログラム入講前からの学生との関係作り
- 日本の事例と現地を比較

学びの言語化



- 研修時の訪問先記録シート等を事前配布
- 先輩の体験談を聞く機会を設けた
- 研修時の振り返りグループワークを準備